

世代による政治ニュース記事の閲覧傾向の違いの分析

Analysis of differences in viewing behavior of politics news by age

関 喜史 *1

Yoshifumi Seki

*1株式会社 Gunosy

Gunosy Inc.

In recent years, youth low interest about political interest has become a problem in Japan. This problem has been discussed by questionnaires, but surveys based on actual behavior are rarely carried. In this research, using the user action logs in news curation service, analyze how the viewing trend of news articles on politics varies depending on ages.

1. はじめに

本研究では、スマートフォンアプリケーションにおける政治ニュースの閲覧傾向について、年代という観点からその違いの分析を行う。近年若年層の投票率の低下が社会問題化している[総務省]。世代間で政治への関心がどのように異なるのかという点については、アンケートを用いた研究や調査はあるが、実際の行動に基づく研究は多くない[鈴木 12]。ニュースの閲覧傾向が世代間で異なることは知られており、閲覧傾向から関心の違いについて重要な示唆が得られる可能性がある[LINe 16]。

本研究ではスマートフォンアプリケーションのグノシーにおける政治カテゴリにおけるニュース記事の閲覧傾向を世代別に比較することにより、政治領域のニュース消費における世代の違いが与える影響について考察する。

2. データセット

本研究では株式会社 Gunosy が提供する情報キュレーションサービスであるグノシー *1 におけるユーザ行動データを用いる。今回は政治的関心が社会的に高まっていると考えられる第 48 回衆議院議員選挙の公示期間である 2017 年 10 月 10 日から 10 月 22 日までのデータを用いる。

対象となるニュース記事はグノシーにおいて政治カテゴリに割り当てられたニュース記事とする。カテゴリはグノシーにおいて分類されたものであり、その分類は人手によらないものもあるため、政治カテゴリに含まれるニュース記事が政治に関するものではないことも、政治に関するニュースが政治カテゴリ以外のカテゴリに割り当てられることもあるが、その影響は軽微であると考え、本研究ではそれを考慮しない。

そして本研究では世代別に閲覧行動を分析するため、ユーザの年齢データを用いる。グノシーでは利用時にニュース記事の配信などに利用するために、利用開始時を中心にユーザに対して性別と年代を登録するように促しており、ユーザは自分の年代を 20 歳未満 20 24 歳, 25 29 歳, 30 代, 40 代, 50 代以上から選択する。さらにこの登録情報を教師データにし、ユーザの行動履歴を素性によって登録していないユーザの年代を機械学習によって推定している。これによりグノシー内

での行動履歴が一定以上存在するユーザに対しては年代情報が存在する。もちろん推定した情報は 100%ではなく、正確ではないこともあるが、本研究ではその影響は考慮しない。本研究では 20 代以下, 30 代, 40 代以上の 3 つに年代をわけて比較を行うことにする。

3. 世代別の政治ニュース記事の閲覧行動

3.1 世代別の閲覧数ランキング

まず世代別に政治ニュース記事の閲覧のランキングを作成し、閲覧数が多いニュース記事を比較する。

表 1: 20 代以下の政治ニュース記事閲覧数ランキング

閲覧数順位	ニュース記事の概要
1	話題になった女性議員の選挙運動について
2	議員による不倫問題について
3	有名政治家の若いころの写真と現在の比較
4	若者が作った選挙情報サイトについて
5	開票速報
6	選挙結果の速報
7	話題になった議員の政治功績の紹介
8	選挙後の政局についての推測
9	首相の街頭演説での政局を野球に例えた発言
10	若者政治団体の元代表のインタビュー

表 2: 30 代の政治ニュース記事閲覧数ランキング

閲覧数順位	ニュース記事の概要
1	議員による不倫問題について
2	話題になった女性議員の選挙運動について
3	有名政治家の若いころの写真と現在の比較
4	開票速報
5	選挙結果の速報
6	話題になった議員の政治功績の紹介
7	選挙後の政局についての推測
8	立憲民主党の選挙結果の予測
9	自民党議員の応援演説での行動について
10	若者が作った選挙情報サイトについて

連絡先: 関 喜史, 株式会社 Gunosy, 〒106-6125 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 25 階, 03-6455-4562, yoshifumi.seki@gunosy.com

*1 <http://www.gunosy.com>

表 3: 40 代以上の政治ニュース記事閲覧数ランキング

閲覧数順位	ニュース記事の概要
1	議員による不倫問題について
2	話題になった女性議員の選挙運動について
3	選挙後の政局についての推測
4	開票速報
5	立憲民主党の選挙結果の予測
6	自民党議員の応援演説での行動について
7	街頭演説における立憲民主党議員の他の野党を批判する発言について
8	選挙結果の速報
9	野党議員の選挙演説での虚偽の発言とその謝罪
10	元希望の党所属議員による希望の党批判

表 1, 2, 3 に世代別の政治ニュース記事閲覧数ランキングの上位 10 件を示す。すべての世代でランキングの 1 位と 2 位はスキャンダルで騒がれた議員に関するニュース記事となった。政治家のスキャンダルは世代を問わず注目される問題であるといえる。また全体の傾向として、20 代と 30 代の傾向はある程度類似しており、30 代と 40 代の傾向も類似しているが、20 代と 40 代では異なる点が多く、年齢の近さと興味関心の近さが関連していることが示唆される。

20 代以下の閲覧数ランキングの特徴として、若者の政治運動に関するニュース記事が 2 件含まれている。30 代では 20 代で 4 位のニュース記事が 10 位、40 代以上では 10 位以内に含まれていない。このことから同世代の活動に注目していることが示唆される。一方 40 代以上では選挙戦における議員の発言を取り上げるニュース記事が多くランキングに含まれている。そして政局に関するニュース記事がほとんどであり、20 代以下、30 代でランキングに含まれていた政策に関するニュース記事が含まれていない。そして 30 代のランキングでは政局に関するニュース記事が比較的含まれているが、20 代以下のランキングにはほとんど含まれていない。このことから年齢が高いほど政局に関する興味関心が高く、年齢が低いほど政局に関する興味関心が低いと考えられる。

3.2 閲覧数ランキングの差分の比較

前節では閲覧数ランキング上位 10 件の比較を行った。本節では閲覧数ランキングの違いが大きいニュース記事を示し、その背景を考察する。閲覧数ランキングから年齢の近さと興味関心の近さに関係があることが示唆されたため、より大きな違いを確認するために、20 代以下と 40 代以上で比較を行う。比較は閲覧数ランキングにおける順位の差分を用いる。

まず 20 代以下が 40 代以上より多く閲覧しているニュース記事を表 4 に示す。最も順位の差分が大きかったのは若者の投票率を向上させるための試みを紹介したニュース記事であり、前節でも述べたように自分たちの世代を対象にしたニュース記事への関心が高いことがわかる。また全体として各党の政策に関するニュース記事が多く、前節同様に政局より政策に関心があるといえる。加えてインターネット上での選挙運動についても関心が高い。

次に 40 代以上が 20 代以下より多く閲覧しているニュース記事を表 5 に示す。表 4 と比較して政局に関するニュース記事が多く、40 代以上は 20 代以下に比べて政策より政局への関心が高いことがわかる。また不倫や、森友・加計問題などスキャンダルに関する関心も 20 代以下に比べて高いといえる。

表 4: 20 代以下が 40 代以上に比べてより閲覧しているニュース記事

差分順位	ニュース記事の概要
1	若者の投票率をあげようとする試み
2	各党の子育て支援政策について
3	首相が不在者投票を行ったこと
4	各党の政策を面白く紹介した記事
5	各党党首のソーシャルメディア活用について
6	視覚障害者向けの選挙サイトについて
7	各党のキャッチコピーの比較
8	各党の政策の違いについて
9	政党の公約について
10	不在者投票の概要

表 5: 40 代以上が 20 代以下に比べてより閲覧しているニュース記事

閲覧数順位	ニュース記事の概要
1	不倫問題で注目された議員の選挙戦
2	民進党と希望の党の合流報道に関するコメント
3	開票速報
4	森友・加計問題に関する野党党首のコメント
5	地方都市首長が希望の党の支援を撤回
6	立憲民主党党首の人柄について
7	選挙結果の予測
8	野党大連立構想について野党党首のコメント
9	希望の党入りした元民進党議員の選挙戦について
10	注目選挙区の情勢について

このように順位の差分を比較することで、前節において閲覧数ランキングの比較によって示唆された点がよりはっきりと示された。

4. まとめ

本研究ではグノシーにおける世代別の政治に関するニュース記事の閲覧傾向を比較した。その結果若い世代は政策に、中高年は政局に関心があるといった傾向が示唆された。今回の分析はあくまでグノシー内の行動であり、一般化できるものではない。しかし本研究で得られた示唆は実社会を部分的には反映しているはずであり、世代間の政治への関心の違いを分析する上で重要なデータであるといえる。

今後はジャーナリズムの専門家も交え、結果をより深く正しく解釈していくことを目指すとともに、ソーシャルメディアの分析や、アンケート調査などと比較することで、閲覧行動から得られる示唆がどのような特徴を持っているのかを明らかにしていきたい。

参考文献

- [LINE 16] LINE 株式会社, 世代間のニュースサービス利用に関する意識調査, <https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2016/1267>, 2016.

[総務省] 総務省, 国政選挙の年代別投票率の推移について,
[http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/
sonota/nendaibetu](http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/nendaibetu)

[鈴木 12] 鈴木万希枝, 若年層のニュース消費に関する研究: 情報源接触パターンおよびニュース情報への選択的接触の検討, 三田哲学会, 2012.